

小学部 3・4年生 音楽 年間計画

【2段階】(指導要領 P151～)

指導内容	単元名 (仮)
<p><b>A 歌唱の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</b> <b>教科別の指導</b> <b>生活単元学習</b> <b>日常生活の指導</b></p> <p>(ア) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつこと。</p> <p>(イ) 次の㉗及び㉘について気付くこと。                  ㉗ 曲の特徴的なリズムと旋律                  ㉘ 曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉</p> <p>(ウ) 思いに合った表現をするために必要な次の㉗から㉘までの技能を身に付けること。                  ㉗ 範唱を聴いて、曲の一部分を模唱する技能                  ㉘ 自分の歌声に注意を向けて歌う技能                  ㉙ 教師や友達と一緒に歌う技能</p>	<p>○げんきに うたおう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かっこう</li> <li>・かたつむり</li> <li>・てのひらを たいように</li> <li>・ひらいたひらいた</li> <li>・セブンスステップス(鑑)</li> </ul> <p>○リズムにのって あそぼう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おとをさがしてあそぼう (タンブリン、ギロ等)</li> <li>・ロンドン橋</li> <li>・しろくまのジェンカ(鑑)</li> <li>・シンコペーテッドクロック(鑑)</li> </ul> <p>(ウッドブロック)</p>
<p><b>I 器楽の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する</b> <b>教科別の指導</b> <b>生活単元学習</b> <b>日常生活の指導</b></p> <p>(ア) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつこと。</p> <p>(イ) 次の㉗及び㉘について気付くこと。                  ㉗ 拍や曲の特徴的なリズム                  ㉘ 楽器の音色の違い</p> <p>(ウ) 思いに合った表現をするために必要な次の㉗から㉘までの技能を身に付けること                  ㉗ 範奏を聴き、模倣をして演奏する技能                  ㉘ 身近な打楽器を演奏する技能                  ㉙ 教師や友達と一緒に演奏する技能</p>	<p>○がっきを ならそう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・打楽器パーティー</li> <li>・がっきでおはなし</li> </ul> <p>○ドレミで あそぼう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きらきらぼし</li> <li>・日のまる</li> <li>・かえるのがっしょう (鍵盤ハーモニカ、キーボード、木琴等)</li> </ul>
<p><b>A 表現</b></p> <p><b>ウ 音楽づくりの活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</b> <b>教科別の指導</b></p> <p>(ア) 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の ㉗及び㉘をできるようにすること。                  ㉗ 音遊びを通して、音の面白さに気付くこと。                  ㉘ 音や音楽で表現することについて思いをもつこと。</p> <p>(イ) 次の㉗及び㉘について、それらが生み出す面白さなどに触れて気付くこと。                  ㉗ 声や身の回りの様々な音の特徴                  ㉘ 音のつなげ方の特徴</p> <p>(ウ) 気付きを生かした表現や思いに合った表現をするために必要な次の㉗及び㉘の技能を身に付けること。                  ㉗ 音を選んだりつなげたりして、表現する技能                  ㉘ 教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくる技能</p>	<p>○たがいの おとを きこう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいあい</li> <li>・こいぬのマーチ</li> <li>・ラデツキー行進曲(鑑)</li> </ul> <p>○日本のうた</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ずいずいずっころばし</li> <li>・なべなべそこぬけ</li> </ul> <p>※国歌「君が代」は、時期に応じて適切に指導する。</p>
<p><b>エ 身体表現の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</b> <b>教科別の指導</b> <b>生活単元学習</b> <b>日常生活の指導</b></p> <p>(ア) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつこと。</p> <p>(イ) 次の㉗及び㉘について気付くこと。                  ㉗ 拍や曲の特徴的なリズム                  ㉘ 曲名と動きとの関わり</p> <p>(ウ) 思いに合った動きで表現するために必要な次の㉗から㉘までの技能を身に付けること。                  ㉗ 示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かす技能                  ㉘ 音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かす技能                  ㉙ 教師や友達と一緒に体を動かす技能</p>	

B 鑑賞	ア 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 教科別の指導	
	<p>(ア) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くこと。</p> <p>(イ) 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けること。</p>	
共通事項	(1)「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	
	<p>ア 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じとったこととの関わりについて考えること。</p> <p>イ 絵譜や色を用いた音符、休符、記号や用語について、音楽における働きと関わらせて、その意味に触れること。</p>	<p>(指導要領 P171～)</p> <p><b>歌唱</b> ※学習のねらいなどに即して移動唱法を用いて指導することで、音と音との関係を捉えるという相対的な音程感覚が身に付くようにする。</p> <p><b>器楽</b> (取り扱う楽器) 簡単に操作できる楽器(ツリーチャイム、カバサ、鈴等を振ったり、揺らしたり、こすったりして音を出すこと)、木琴、鉄琴、和楽器、諸外国に伝わる様々な楽器</p> <p><b>音楽づくり</b> 多様な音:既製の楽器、自分の体を叩いたり、音や床や壁を踏みしめたりして出る音など ※つくった音楽については、指導のねらいに即し、必要に応じて記録できるようにすること(絵、図など) ※拍のないリズム、我が国の音楽に使われている音階や調性にとらわれない音階などを見童の実態に応じて取り上げる。</p> <p>※必要に応じてコンピュータや教育機器を効果的に活用する。 例:演奏を IC レコーダーに録音し、曲や演奏の楽しさに気付くようにすること ※学校内における音楽活動とのつながりを意識できるような機会を作り、生活や社会の中の音や音楽と主体的に関わっていくこと</p>